

第11章 松山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、

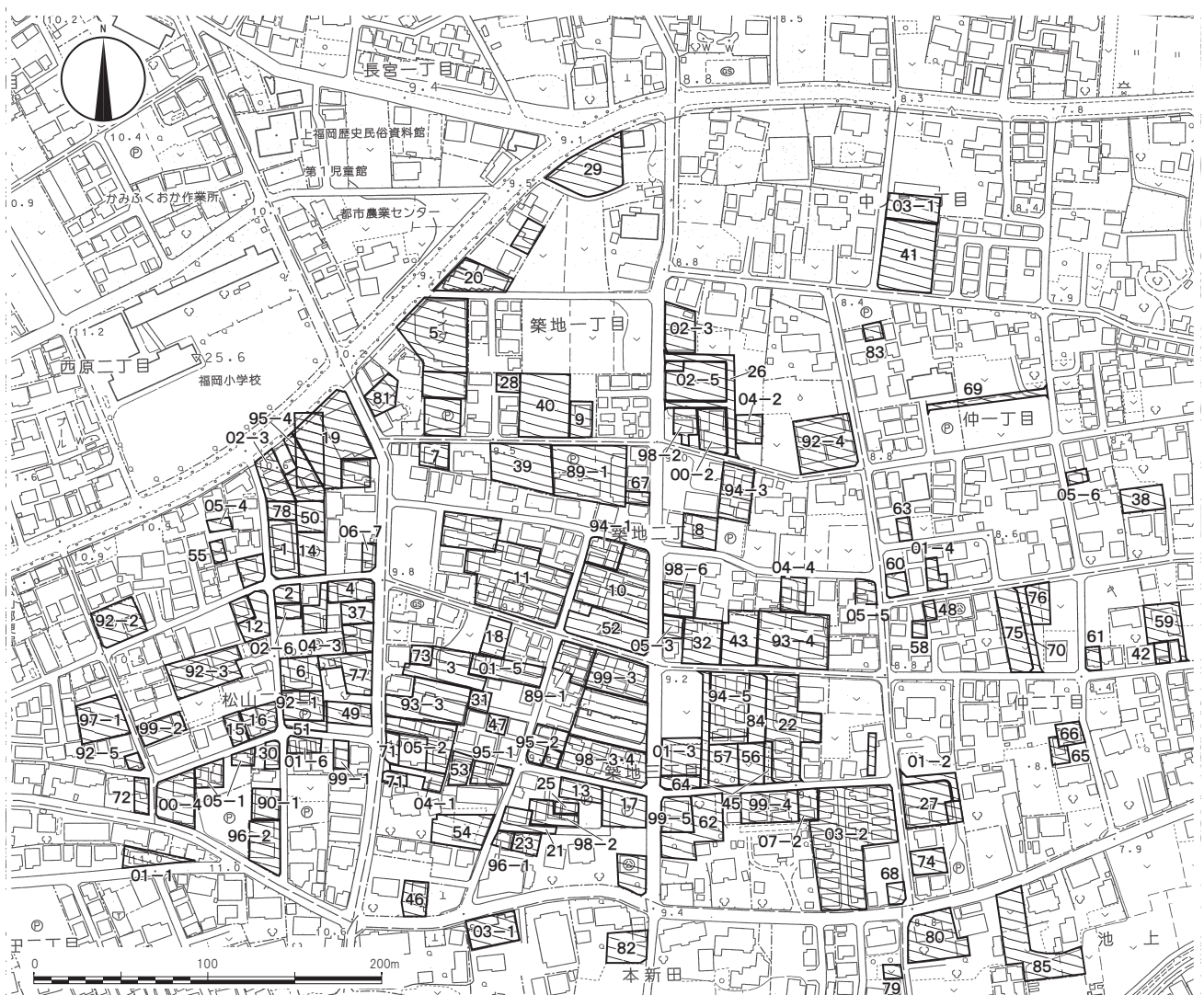
長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

II 松山遺跡第69地点

(1) 調査の概要

調査は市道築造に伴うもので、ふじみ野市長より2013年3月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置するため、関係課と協議の結果、試掘調査を実施した。

試掘調査は2013年9月10日と11日に行った。幅約1mと1.5mのトレンチ合わせて3本を設定し、



第23図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 16 表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05 試(1)	松山 2-2-4 の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(2)	築地 3-1-32・34・43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内 1
05 試(3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
31 次	築地 3-1-69	2005.6.14～23(2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳住居跡 1	市内 1
05 試(8)	築地 2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安住居跡 1	市内 1
32 次	築地 2-5-3 の一部	(2005.8.30～9.7)9.8～13	132	個人住宅	平安住居跡 2	市内 1
05 試(5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(4)	松山 2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 1
05 試(7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内 2
37	松山 2-6-10・13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
38	仲 1-4-3・9・12・13・24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
39	築地 2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内 3
40	築地 1-1-5	(2007.2.2～8)2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良住居跡 1、中世遺構検出	市内 3
41	中ノ島 1-2-5	(2007.2.7～9)2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内 3
42	仲 2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
43	築地 2-5-2	(2007.4.11～24)	668	分譲住宅	堀跡 1、土坑 1、旧石器ナイフ 1 点	市内 4
44	築地 3-2-10・14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
45	築地 3-4-7 の一部外	(2008.9.4～30)10.1～23	390	道路(上下水道)	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、掘立柱建物跡 2、竪穴状遺構 1、時期不明の溝 10、土坑、ビット	市内 6
46	築地 3-1-33・35 の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内 6
47	築地 3-1-52	(2009.5.11・12)	121	個人住宅	ビット	市内 8
48	仲 2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内 8
49	松山 2-6-1・14・22 の一部	(2009.10.17～22)10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代竪穴住居跡 1(住居内鍛冶炉検出)、土坑 1、溝 1、ビット 1	市内 8
50	松山 2-5-3・17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝 1、ビット 7	市内 8
51	松山 2-6-22・23・28 の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 10
52	築地 2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝 1、落とし穴 1、工事立会	市内 10
53	築地 3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝 3、アナグラ 1、慎重工事	市内 10
54	築地 3-1-6・76～83	(2010.9.21～10.1)10.4～11.5	540	宅地造成	奈良・平安住居跡 3 確認、西側 1 の住居は盛土保存、他 2 は本調査	市内 9
55	松山 2-4-24 の一部	(2011.1.17)1.18～31	226	個人住宅	奈良平安時代の住居跡 1、掘立柱建物跡 1、本調査	市内 10
56	築地 3-4-7・8 の一部	(2011.4.4～14)4.11～15	483	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡 2 他、本調査(一部工事立会)	市内 11
57	築地 3-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する 45 地点から続く H34 号住居跡と溝、遺物なし	市内 14
58	仲 2-2-31	(2011.6.6～8)6.14	115	個人住宅	井戸 1、溝 1、ビット 1、本調査	市内 14
59	仲 2-3-6・9	(2011.8.8・9)8.10・11	560	個人住宅	土坑 2、溝 3、縄文土器、須恵器、本調査	市内 14
60	仲 1-1-15	(2012.3.26・27)	165	個人住宅	堀跡 1、溝 1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内 14
61	仲 2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝 1、土坑 3、陶磁器	市内 15
62	築地 3-5-11・14・19	(2012.6.11～21)7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1、溝 6、縄文土器、銭貨、他	市内 12
63	仲 1-1-55・56・57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
64	築地 3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝 4、近世の土坑、陶磁器	市内 15
65	仲 2-1-25・36	(2013.2.13～18)2.19～3.21	630	物置	奈良平安住居跡 2、掘立柱建物跡 3、土坑 6、溝 6、須恵器、旧石器	市内 15
66	仲 2-1-53・54		179	個人住宅		市内 15
67	築地 3-3-13	(2013.2.19)	92	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
68	築地 3-5-1	(2013.3.7・8)	166	個人住宅	井戸 1、土坑 1、ビット 4、須恵器、土師器等	市内 15
69	仲 1-51・53・55	(2013.9.10・11)9.12～17	298	道路築造	縄文時代集石土坑 1、溝 1	市内 18
70	仲 2-2-39・41	(2013.4.11～16)4.17～23	220	道路	奈良平安住居跡 1、中世以降井戸 1、集石土坑 1、溝 2、須恵器、土師器、土錘、陶磁器	市内 18
71	築地 3-1-16・32・34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ビット 1、古銭、陶器片 1	市内 18
72	松山 1-4-1	(2013.5.24)	199	個人住宅	遺構遺物なし	市内 18
73	築地 3-1-56	(2013.8.19)8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡 1、須恵器	市内 18
74	仲 2-1-37	(2013.12.24～26)	280	分譲住宅	井戸 1、集石土坑 1、溝 2、土坑 1、陶磁器	市内 18
75	仲 2-2-2・4	(2014.1.14～20)8.5～11	606	分譲住宅	平安住居跡 1、溝 3、須恵器、土師器	市内 18
76	仲 2-2-48	(2014.1.22～28)9.26～10.2	120	個人住宅	土坑 1、井戸 1、溝 1、土器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22～28)11.12～17	120	個人住宅	古代住居跡 1、土師器	市内 18
	仲 2-2-37	(2014.1.22～28)	362	造成工事	平安時代住居跡 1、井戸 2、溝 2、土坑 3、土師器、須恵器、中世陶器	市内 18
77	松山 2-6-2・3・12 の各一部	(2014.3.3～12)3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡 1、土坑 3、土師器、須恵器	市内 18
78	松山 2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
79	本新田 395-1 の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
80	池上 372	(2015.3.12)	1,183	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
81	築地 1-1-12	(2015.3.23)	247	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
82	本新田 411 の一部	(2015.7.30・31)	194	個人住宅	溝 1、遺物なし	未報告
83	仲 1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝 1、遺物なし	未報告
84	築地 3-4-13	(2015.9.15・16)	455	宅地造成	平安時代住居跡 1、井戸 1、土師器	未報告
85	池上 362-1 の一部、364・365・366 の一部	(2015.10.1～19)10.20～26	1,244	分譲住宅	古代時代住居跡 2、屋外炉 1、溝 1、土師器、陶磁器、石製品	未報告



第24図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

【遺物】（第 36 図 1～4） 1～3 は須恵器の坏で、2 は底部に「七」のヘラ書きがみられる。類似する資料が、鳩山窯跡群広町 B 第 6 窯状遺構出土の須恵器坏に「七」のヘラ書きがみられる。4 は土師器の甕である。詳細は第 21 表参照。

IX 松山遺跡第 74 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2013 年 12 月 3 日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2013 年 12 月 24 日～26 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは 50～70 cm である。

試掘調査の結果、時期不明の集石土坑、土坑、井戸、ピット各 1 基、中近世以降の溝 2 本を確認した。分譲住宅による遺跡への影響がないため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

（2）遺構と遺物

①集石土坑

調査区に南端に位置し、近世以降の浅い溝状の掘り込みに切られ、全容は不明である。土坑の平面形態は楕円形か円形とみられる。覆土層の観察から縄文時代の可能性が高い。

規模は確認面径 83 × (46) cm、底径 55 × 38 cm、深さ 28.4 cm である。礫は土坑内から 52 点が、やや密

に出土する。出土礫の詳細は第 22 表のとおりである。

②井戸

調査区の中央部東側に位置する。検出部の平面形態は半円形で、全容は不明である。底部も未検出である。規模は、確認面径 128 × (70) cm、底径 36 × (15) cm、深さ (57) cm である。

③土坑

調査区の南側に位置する。検出部の平面形態は半円形で、全容は不明である。規模は、確認面径 130 × (67) cm、底径 123 × (67) cm、深さ 37.2 cm である。

④ピット

調査区の南西部隅に位置する。溝 2 と重複し、ピットが新しい、中近世以降とみられる。平面形態は方形である。規模は、確認面径 32 × 24 cm、底径 8 × 7 cm、深さ 41.6 cm である。

⑤溝

【溝 1】 調査区の東側を南北方向に延びる。断面形態は「U」字状で、規模は上幅 81～105 cm、下幅 11～18 cm、深さ 46.8 cm である。土層の観察から、中近世以降とみられる。

【溝 2】 調査区の西側を南北方向に延びる。断面形態は広い「U」字状で、規模は上幅 131～142 cm、下幅 41～45 cm、深さ 64 cm である。土層の観察から、中近世以降とみられる。

⑥遺物（第 37 図 1～3）

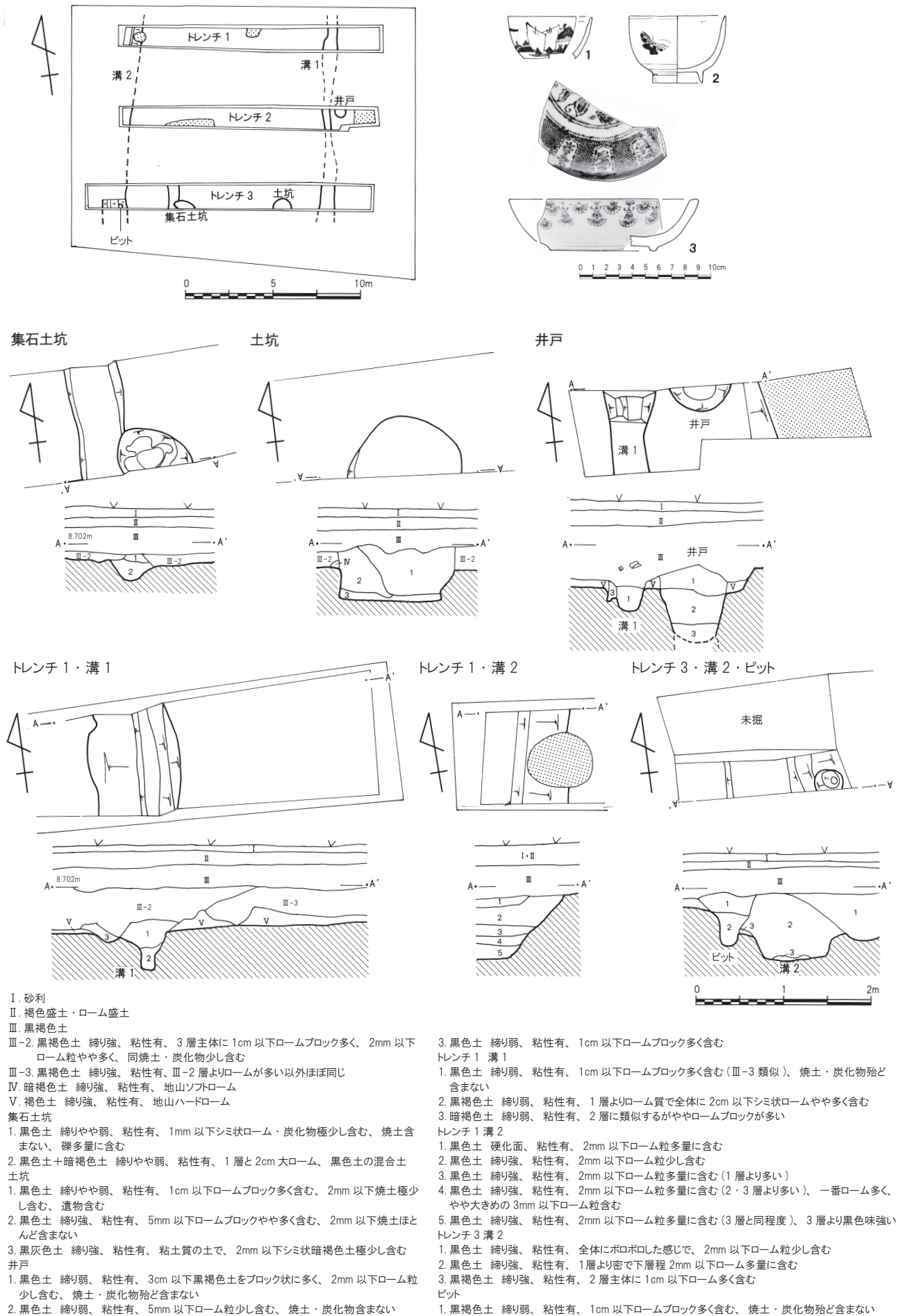
1 は土坑出土の磁器で小坏。轆轤成型、染付、外面は帆掛け舟に島文。2 は溝 2 出土の磁器で湯呑碗。轆轤成型、染付、畳付け無釉、外面は蝶文。3 は溝 1 出土の磁器で皿。轆轤成型、型紙染付。1 は肥前、2・3 は瀬戸美濃。19 世紀中頃～後半以降。

第 21 表 松山遺跡第 73 地点出土遺物観察表（単位 cm・g）

掲載 No.	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	H 45 号住居跡	須恵器 / 坏	12.3	7.1	3.4	轆轤成型 / 底部回転糸切後に周縁回転ヘラ削り。外周は斜めにヘラ削り。外面上部に自然釉有。胎土 / 白色針状物質、2 mm 以下砂含む。色調 / 灰色。口縁部一部欠。	南比企	8c 後半
2		須恵器 / 坏	12.3	7.2	3.5	轆轤成型 / 底部回転糸切後に全面回転ヘラ削り。底部周縁にもヘラ削り。底部外面中央に「七」のヘラ書き有。胎土 / 白色針状物質、4 mm 以下砂含む。色調 / 灰色・にぶい橙色。口縁部一部欠。	南比企	8c 後半
3		須恵器 / 坏	12.0	6.0	3.5	轆轤成型 / 底部回転糸切後、外周は斜めにヘラ削り。底部外面中央に「中」の墨書文字有。胎土 / きめ細かく滑らか。色調 / 灰黄色。口縁部一部欠。	—	8c 中～後半
4		土師器 / 甕	—	5	(7.4)	粘土紐積上 / 外面ヘラ削り、内面撫で。色調 / 橙色。底部残存。	—	8c

第 22 表 松山遺跡第 74 地点集石土坑・出土礫観察表（単位 cm・g）

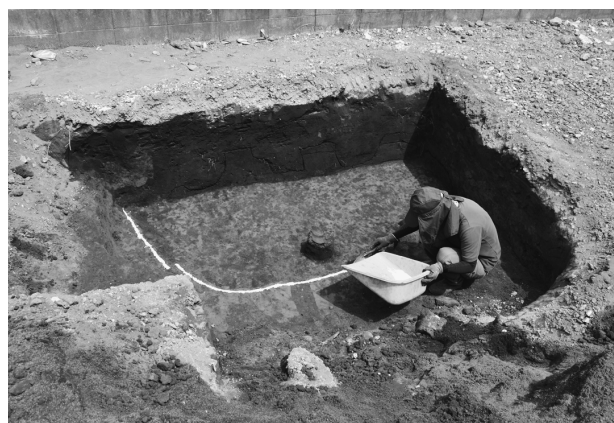
平面形態	確認面径	底径	深さ	備考	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
(楕円形)	83 × (46)	55 × 38	28.4		52	1,798.16	34.58	45(86.54%)	7(13.46%)	15(28.85%)	37(71.15%)	35(67.31%)	17(32.69%)



第37図 松山遺跡第74地点遺構配置図 (1/300)、集石土坑・土坑・井戸・ピット・溝 (1/60)、出土遺物 (1/4)



松山遺跡第 73 地点調査風景



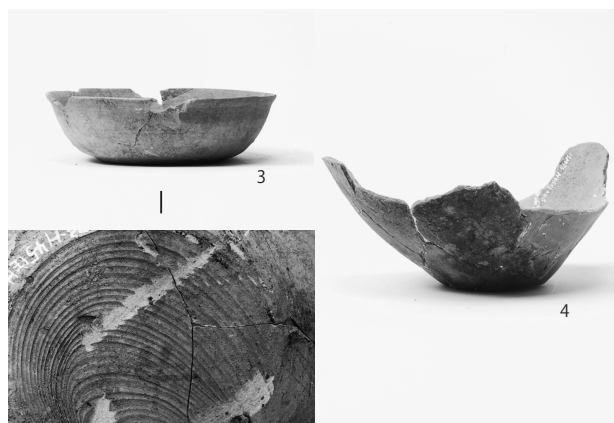
松山遺跡第 73 地点 H45 号住居跡調査風景



松山遺跡第 73 地点 H45 号住居跡



松山遺跡第 73 地点 H45 号住居跡遺物出土状況



松山遺跡第 73 地点 H45 号住居跡出土遺物



松山遺跡第 74 地点調査風景



松山遺跡第 74 地点トレンチ 1



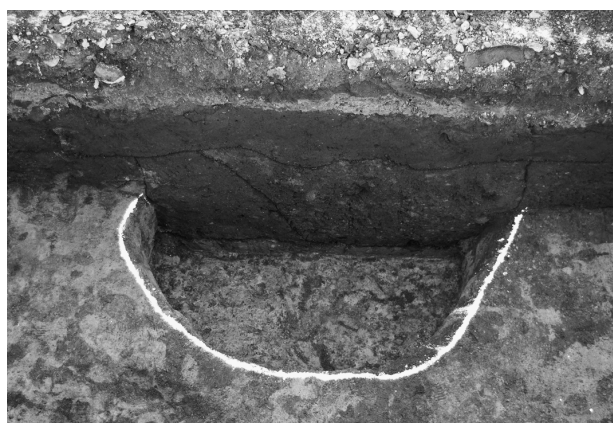
松山遺跡第 74 地点トレンチ 2



松山遺跡第 74 地点集石土坑



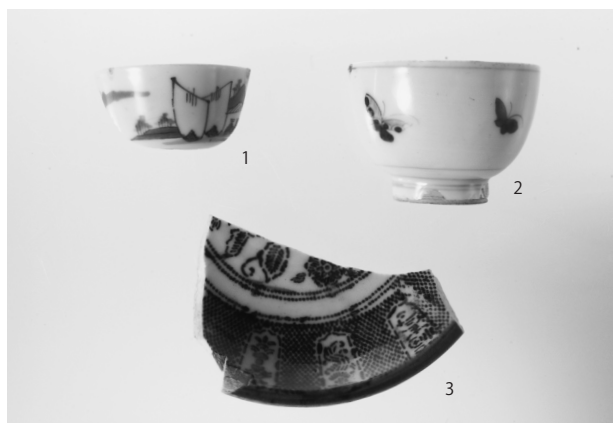
松山遺跡第 74 地点集石土坑



松山遺跡第 74 地点土坑



松山遺跡第 74 地点溝 2 ・ ピット



松山遺跡第 74 地点出土遺物



松山遺跡第 77 地点調査風景



松山遺跡第 77 地点全景